平成 29 年度第 2 回仙台市障害者自立支援協議会	
平成 30 年 3 月 14 日	資料 9

評価・研修部会の取組報告

1　今年度の取組み方針

「仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修」及び「障害者相談支援事業所運営自己評価」は平成 28 年度評価・研修部会での検討により一定程度の整理ができたため，複数年実施することとし，部会自体は休止していた。

2　取組み結果

（1）仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修

①　実施状況

仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修研修手帳に沿って実施

研修(開催日)	内　容
基礎 （6/13，10/3）	講師：　東北福祉大学教授　三浦剛氏 社会福祉法人つどいの家　福地慎治氏 内容：　ケアマネジメント概論，ニーズの理解，アセスメント，研修計画について　など 参加者数：　31 名 （内訳）委託相談支援事業所（13），指定特定相談支援事業所（4），障害者就労支援センター（2），児童発達支援センター（2），自閉症相談センター（1），健康福祉局（7），その他（2）
実践 （11/2，12/8）	講師：　向日葵ライフサポートセンター　片寄篤志氏 社会福祉法人ゆうゆう舎　高橋壮氏 内容：　ケアマネジメント，自己理解，社会資源開発について　など 参加者数：　14 名 （内訳）委託相談支援事業所（6），指定特定相談支援事業所（5），障害者就労支援センター（1），自閉症相談センター（1），健康福祉局（4）
リーダー （8/1，1/18）	講師：　東北福祉大学教授　塩村公子氏 内容：　スーパービジョンについて 参加者数：　11 名 （内訳）委託相談支援事業所（6），指定特定相談支援事業所（4），総合支所（1）
フォローアップ	・5/22：「スーパービジョンの実際」東北福祉大学教授　塩村公子氏 ・7/21，10/20：グループワーク「人材育成に関する課題について」 ・1/24：「ケースカンファレンスの運営方法」 東北福祉大学准教授　竹之内章代氏 参加者数：19 名 （内訳）委託相談支援事業所（10），自閉症相談センター（5），障害者福祉センター（3），障害者就労支援センター（1）

管理者 （6/13）	【基礎研修と同日開催】 講師：　東北福祉大学教授　三浦剛氏 内容：　ケアマネジメント概論，人材育成について 参加者数：　12 名 （内訳）委託相談支援事業所（6），指定特定相談支援事業所（5），その他（1）
普及啓発 （6/13）	【基礎研修と同日開催】 講師：　東北福祉大学教授　三浦剛氏 社会福祉法人つどいの家　福地慎治氏 内容：　ケアマネジメント概論，研修計画について 参加者数：　14 名（就労継続支援 A 型及び B 型事業所を対象に案内）

※　参加者数…フォローアップ以外：全カリキュラムの参加者，フォローアップ：参加延人数

②　成果及び課題

各研修ともに参加者アンケートから研修内容の理解度は高く自由記載から到達目標として掲げている内容を学べたという記載が多いが，基礎研修以外の参加者数の停滞がみられる。また，昨年度の部会での協議を踏まえ，フォローアップの実施回数を増やし，人材育成について話し合う場を設定したが，フォローアップ全体を通して参加者数の少なさが顕著である。

フォローアップでのグループワークや，管理者研修アンケート結果からは事業所内でのスーパービジョンの実施の必要性の認識はしているが，体制が整っていないことや業務繁忙などを理由に実施には至らない状況が明らかになっている。

本部会で作成した研修手帳を活用した人材育成に関する取組みは，事業所間によるばらつきが大きい。研修手帳を活用している事業所は，研修計画作成にあたって「年度計画に組込む」「職員会議などの時間を活用する」など，枠組みを整える工夫をしている。

(2) 障害者相談支援事業所運営自己評価

①　実施状況

・11 月 8 日　　障害者相談支援事業所運営自己評価に関する研修会
　講師：東北福祉大学教授　三浦剛氏
　　社会福祉法人なのはな会　遠山裕湖氏
　内容：評価の必要性，自己評価チェックシートの使用方法
・(1 月上旬まで)　各事業所において障害者相談支援事業所運営自己評価の実施
・1 月 30 日　　障害者相談支援事業所運営自己評価を共有する会

②　成果及び課題

2 年間，全く同じ自己評価票を使用して評価を行ったことで，昨年度との比較ができ，事業所として改善していることや，改善の難しいことなどが明確になった。

また，自己評価を共有する会では，「事業所の強み」「昨年度の結果から改善したこと（取組んでいること）」などをテーマにグループワークを行い，最後に，すべての事業所から「改

善に向け取組みたいこと」を発表した。他の事業所の良い取組みを自分たちの事業所の今後の取組みに活かす事業所がいくつか見られ，今後も継続していくことが望ましい。

(3) 障害者相談支援事業外部評価実施状況の他都市調査について

平成 29 年 10 月から 11 月に仙台市を除く 19 の政令指定都市に対して，障害者相談支援事業外部評価実施状況について調査を行い，15 都市から回答を得た。

外部評価実施都市は 5 都市であったが，一部都市は「委託した業務水準を満たしているか」という監査に近い内容で実施していることが把握された。また，未実施の都市を含め，外部評価実施にあたっては，支援の質の評価をどのように行っていくかを課題と認識しており，外部評価の導入にあたり配慮が必要な事項であると考えられる。

※　障害者相談支援事業所運営自己評価を共有する会（平成 30 年 1 月 30 日）にて説明

3　平成 30 年度の方向性（案）

今年度の実施状況より課題（研修受講者の停滞，人材育成の課題など）は明らかになっているが，現在，障害者相談支援体制の体制整備を進めているところであり，一定の整理がされた後，必要に応じて研修体系や評価の仕組みの修正を行うこととしたい。

よって，平成 30 年度においても今年度同様，評価・研修部会は休止とし，「仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修」及び「障害者相談支援事業所運営自己評価」は市障害者自立支援協議会で決定したとおりに実施することとし，相談支援体制全体の評価や，必要な研修について協議する必要性が生じた際には，評価・研修部会を再開することとしたい。

(1) 仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修

仙台市障害者ケアマネジメント従事者養成研修研修手帳に沿って実施

(2) 障害者相談支援事業所運営自己評価

11 月頃　　障害者相談支援事業所運営自己評価に関する研修会
12 月　　各事業所において障害者相談支援事業所運営自己評価の実施
1 月頃　　障害者相談支援事業所運営自己評価の共有